目 次

はしがき

プロローグ：憲法で保障される自由・権利を学ぶこと…………… Ⅰ

Chapter 01 憲法上の権利の主体としての外国人…………… 9
——日本「国籍」の壁？

- 第1節 はじめに 10
- 第2節 外国人の権利の保障とその限界 10
- 第3節 外国人に「保障されない権利」とは？ 13
- 第4節 権利保障が問題になる「外国人」とは？ 17
- 第5節 おわりに 18

Chapter 02 憲法上の権利としてのプライバシー権…………… 21
——「新しい人権」の代表選手？

- 第1節 はじめに 22
- 第2節 憲法13条の保障するプライバシー権とは 23
- 第3節 私法上の権利・利益としてのプライバシー 25
- 第4節 憲法上の権利としてのプライバシー 28
- 第5節 おわりに 31

Chapter 03 法の下での平等…………… 33
——みんな平等ってどういう意味？

- 第1節 はじめに 34
- 第2節 憲法による平等保障の意味 34
- 第3節 不合理な差別？ それとも合理的な区別？ 38
- 第4節 問題となる色々な差別 40
- 第5節 おわりに 43

Chapter 04	家族制度と憲法問題	45
	— 婚姻・家族・親子とは？	
第1節	はじめに	46
第2節	家族形成の自由と時代遅れの法律	46
第3節	伝統的家族イメージと違憲の法律	49
第4節	婚姻における男女不平等	52
第5節	おわりに	55
Chapter 05	選挙権	57
	— 議会制民主主義の根幹？	
第1節	はじめに	58
第2節	選挙制度の構築	58
第3節	選挙権および選挙権行使の保障	61
第4節	投票価値の平等	64
第5節	おわりに	67
Chapter 06	思想・良心の自由	69
	— どうしても謝らなければならないの？	
第1節	はじめに	70
第2節	内心の自由の保障とは	70
第3節	外部的行為と「思想・良心の自由」	73
第4節	私人間でも問題に	77
第5節	おわりに	79
Chapter 07	信教の自由と政教分離	81
	— 憲法は宗教とどうかかわる？	
第1節	はじめに	82
第2節	信教の自由	83
第3節	政教分離	85
第4節	信教の自由と政教分離をめぐる様々な問題	89
第5節	おわりに	91

Chapter 08	表現内容規制	93
	——「生産性がない」はどこがダメ？	
第1節	はじめに	94
第2節	表現の自由の保障	94
第3節	表現内容規制としての個人・集団の名誉侵害	101
第4節	おわりに	104
Chapter 09	表現手段の規制と忘れられる権利	107
	——情報発信手段の進歩についていけるか？	
第1節	はじめに	108
第2節	古典的手段の規制	108
第3節	テレビの規制	111
第4節	新たな手段としてのインターネット	114
第5節	おわりに	118
Chapter 10	情報受領の自由、知る権利と情報公開制度	121
	——黒塗りでも公開したといえるの？	
第1節	はじめに	122
第2節	情報受領の自由・権利とは？	122
第3節	民主制社会における「知る権利」	127
第4節	おわりに	130
Chapter 11	学問の自由と教育を受ける権利	133
	——勉強するのは自由それとも権利？	
第1節	はじめに	134
第2節	学問の自由	134
第3節	大学の自治	136
第4節	教育を受ける権利	138
第5節	義務教育	142
第6節	おわりに	143

Chapter 12 職業選択・居住移転の自由……………145

——「なりたい自分」になれますか？

- 第1節 はじめに 146
- 第2節 職業選択の自由 146
- 第3節 営業の自由と合憲性審査基準 148
- 第4節 営業の自由規制の合憲性 150
- 第5節 居住・移転の自由と国籍離脱の権利 153
- 第6節 おわりに 154

Chapter 13 財産権……………157

——それは「誰のもの」なのか？

- 第1節 はじめに 158
- 第2節 財産権の保障 158
- 第3節 財産権の制約 160
- 第4節 損失補償 163
- 第5節 おわりに 167

Chapter 14 生存権……………169

——私も保護してもらえますか？

- 第1節 はじめに 170
- 第2節 生存権の意義・構造・性格 170
- 第3節 生存権と生活保護 174
- 第4節 社会保障制度と立法裁量 176
- 第5節 おわりに 178

Chapter 15 労働権・労働基本権……………181

——労働組合に出番はあるか？

- 第1節 はじめに 182
- 第2節 労働の権利 182
- 第3節 労働基本権 185
- 第4節 公務員の争議権 188

第5節	おわりに	190
Chapter 16	法律の明確性	193
	——「淫行」って何？	
第1節	はじめに	194
第2節	不明確な刑罰法規	194
第3節	裁判所による限定解釈	197
第4節	裁判規範の明確性？	199
第5節	おわりに	202
Chapter 17	適性手続の保障	205
	——「結果良ければすべて良し」とはならない？	
第1節	はじめに	206
第2節	法定手続の保障（憲法31条）	207
第3節	住居侵入・捜索・押収に際しての令状主義（憲法35条）	211
第4節	自己に不利益な供述の強制的禁止（憲法38条1項）	213
第5節	おわりに	214
Chapter 18	罪刑法定主義と事後法の禁止	217
	——後出しはするくない？	
第1節	はじめに	218
第2節	憲法原理としての罪刑法定主義	218
第3節	遡及処罰の禁止と事後法	222
第4節	おわりに	227
	エピローグ：「憲法上の権利」の考え方と残された問題	229

判例索引

事項索引

執筆者紹介